人・もの・ことの“つながり”を大事に

共に歩まん

壁面に掲示してご活用ください

令和７年８月５日発行
第７号
中信教育事務所

←過去の「マナビィ通信」はこちら

↑
過去の「共に歩まん」はこちら

7月1日(火)に「教師力向上研修Ⅱ・Ⅳ」を行いました。今回の研修は、初任者(1年次)とキャリアアップ研修Ⅰ対象者(5年経験者)が、自己の学級経営や教科指導等の実践を語り合うことで、自己課題をより明確化させるとともに、課題解決の参考とする機会となりました。

ある協議グループ内のやりとり

人とつながる

初任者
小学校
学級担任

学級には多様な子がいて、その一人一人への支援について悩みがありました。そこで、朝の学活や授業までにしておくことを画面表示し、視覚的な支援をするようにしたところ、子供同士が互いに声をかけ合う姿がみられました。今後は、授業に集中しやすくなる授業の導入や学習カードをつくっていきたいと考えています。

5年経験者
中学校

素敵な取組ですね。文字に加えて、絵や写真でも示すと、さらに分かりやすくなり、子供のより具体的な理解につながると思います。

5年経験者
特別支援学級
担任

様々な子供がいますよね。私が子供と向き合う時は「なぜその行動をしているのか」と考え、原因や背景を想像し、個に応じた支援の方向を考えるようにしています。

初任者

中学校、特別支援学級担任といった異なる立場の先生のお話を聞き、「私もやってみよう」と思う工夫を考えたり、専門的な視点の助言から課題を見つけたり等、新たな発見をすることができました。立場や働く場が異なっていても、「子供を大切にし、子供に寄り添うこと」の大切さは同じだと思いました。

想いがつながる

５年経験者の先生方の声

これまでは、他の先生に支えられ、教えてもらいながらここまできましたが、今後は、自分が他の先生を支えていくんだ、という意識が一層高まりました。また、**自分の手応えのあったことだけを伝えるのではなく、相手の困っている事やニーズに合わせて、提案していく大切さも学びました**。

初任の先生方は、教師１年目とは思えないくらい、子供と一緒に授業をする先生、挑戦しようとする先生方で、私が刺激をもらいました。私も自分の課題と向き合いながら**たくさんの先生方と協働し、今後も教育観を深めていければと思います**。

学習指導や生徒指導にはじまり、教師観そのものについて、多様な校種の先生方と議論を交わすことで、**自分の「観」を捉え直し、磨きをかけることに繋がりました**。私は、子供と共に歩み続ける共同探究者でいたいと思います。そのために、**子供たちの確かな学びを支える教師の在り方について、これから先もずっと自分の中で問い続けたい**です。

初任者、5年経験者が互いの実践の成果や課題、悩み、経験等を、自分事として捉えたことで、どのグループにおいても“対話”が自然と生まれ、「授業観」や「教師観」が深まった研修となりました。今後も成長し続けようとする先生方の姿に、私たちも学び続けたいと思います。